

産業工学創発センター：未来を拓くものづくり共創ユニット

産業工学創発センターは、材料、設計、生産、数値解析に関連する最先端のものづくり研究を推進し、産学連携の活性化と革新的なものづくり技術の創出を目指します。理工学部が誇るマニファクチュアリングセンターや中央試験所と連携し、世界に先駆けた革新的な設計製造技術の研究基盤を強化します。本センターは、企業や研究機関と協力しながら、新たな産業価値を創出し、経済産業省関連の大型研究費の獲得にも貢献できる体制を構築します。

ユニット参加メンバー

柿沼 康弘（センター長）、大家 哲朗（副センター長）、
鈴木 哲也、小茂鳥 潤、閻 紀旺、大宮 正毅、加藤 健郎、飯盛 浩司、ブカン アントニー、小池 綾

【目的・ビジョン】

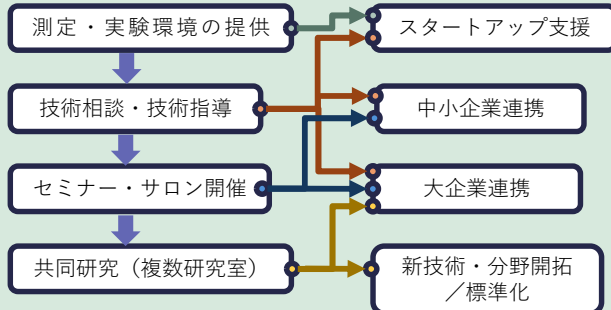
材料・設計・生産・解析の融合によって、
革新的なものづくりと産業価値の創出を目指します

【産業工学創発センターの特徴】

- ・ 必要な時に必要な専門家が集う、ものづくり共創ネットワーク
- ・ 技術相談から産業共創まで柔軟な産学連携
- ・ 充実した学内設備（マニファクチャリングセンター・中央試験所）を活かした最先端ものづくり研究

【活動内容と価値提案】

多彩なアプローチで応える“ものづくり共創ユニット”



【今後の展開】

今年度目標

- ・ キックオフセミナー開催
- ・ テクノモールでの情報発信
- ・ SNS発信開始

来年度目標

- ・ 共創研究テーマの開始
- ・ 定期セミナー開催
- ・ 大型競争的資金の獲得